

● **社会福祉法人α Version 9.301**

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7 搭載機へのインストールは不可となっています。

◆ 登録・入力

➤ 新規会社登録・修正・削除

・過年度マスターが存在する場合でも、当年度マスターのみを削除できるように改良しました。

◆ バックアップ・リストア業務で保存先として外付け HDD に対応いたしました。

◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“**社会福祉法人db (VERSION:9.301) の変更点**”を参照してください。

⚠ **注意**

- 他のICSシステムとマスターのやり取りを行われる場合は、他のICSシステム側も当改正対応プログラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。

社会福祉法人 d b (VERSION:9.301) の変更点

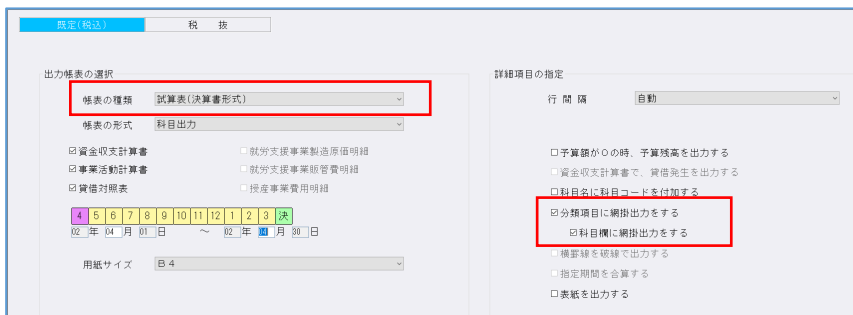
改良 (社会福祉法人)

I. 出力

1) 試算表

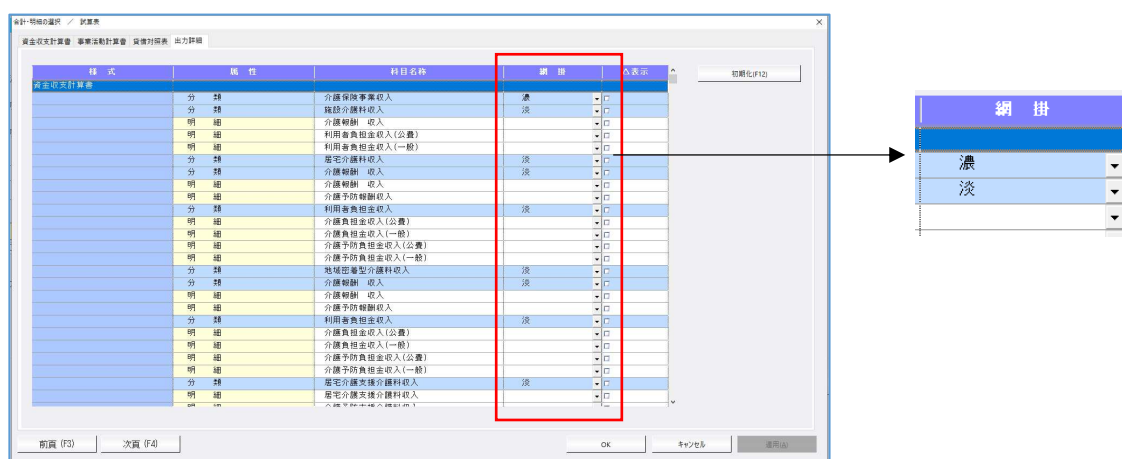
① 「帳票の種類：試算表（決算書形式）」の網掛出力に対応しました。

- ・帳票の種類が『試算表（決算書形式）』のとき、「分類項目に網掛出力をする」及び「科目欄に網掛出力をする」のチェックボックスが有効になるようにしました。



- ・チェックボックスがオンの場合、「F7 合計・明細」の出力詳細タブの、分類科目に網掛（濃・淡）の設定により網掛出力を行います。

※既存マスターの網掛（濃・淡）の初期の状態については、後述の「既存マスターの【F7 合計・明細】の出力詳細について」をご参照ください。



- ・網掛の濃淡については、基本的に大分類科目行と合計行が【濃】、中分類科目が【淡】としています。

※『試算表』に準じた網掛表示としています。

また、資金収支計算書、事業活動計算書の縦項目名称は網掛の対象外としています。

出力結果

- ・「分類項目に網掛出力をする = ON」及び「科目欄に網掛出力をする = ON」

[00000008] 社会福祉法人 ©©福祉会

勘定科目	当初予算額	補正	流用	予算額
介護保険事業収入	(52,000,000)			(52,000,000)
施設介護料収入	(32,000,000)			(32,000,000)
介護報酬収入	30,000,000			30,000,000
利用者負担金収入(公費)	1,000,000			1,000,000
利用者負担金収入(一般)	1,000,000			1,000,000
居宅介護料収入	(20,000,000)			(20,000,000)
(介護報酬収入)	(20,000,000)			(20,000,000)
介護報酬収入	20,000,000			20,000,000
事業活動収入計(1)	52,000,000			52,000,000

- ・「分類項目に網掛出力をする=ON」及び「科目欄に網掛出力をする=OFF」

[00000008] 社会福祉法人 ◎◎福祉会

勘 定 科 目		当初予算額	補 正	流 用	予 算 額
事業活動による収支	収入				
	介護保険事業収入	(52,000,000)			(52,000,000)
	施設介護料収入	(32,000,000)			(32,000,000)
	介護報酬収入	30,000,000			30,000,000
	利用者負担金収入(公費)	1,000,000			1,000,000
	利用者負担金収入(一般)	1,000,000			1,000,000
	居宅介護料収入	(20,000,000)			(20,000,000)
	(介護報酬収入)	(20,000,000)			(20,000,000)
	介護報酬収入	20,000,000			20,000,000
事業活動収入計(1)	52,000,000			52,000,000	

- ・帳票の形式：枝番出力（資金収支計算書以外）
「分類項目に網掛出力をする=ON」及び「科目欄に網掛出力をする=ON」

[00000008] 社会福祉法人 ◎◎福祉会

勘 定 科 目		
サービス活動増減の部	収入	
	介護保険事業収益	
	施設介護料収益	
	介護報酬収益	-0-001
		0001
		0002
		0003
	利用者負担金収益(公費)	-0-002
	利用者負担金収益(一般)	-0-003
居宅介護料収益		
(介護報酬収益)		

- ・A4 縦出力
貸借対照表
「分類項目に網掛出力をする=ON」及び「科目欄に網掛出力をする=ON」

貸借対照表 令和2年7月31日 9時6分
【決算月一括報出】
4月～3月

決算書形式 2年 3月 31日 現在

勘 定 科 目	前月残高		当 月 残 高	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方
流動資産	1,295,061	66,700	1,328,361	
現金・預金	492,000	66,700	426,300	
有価証券	13,000		13,000	
事業用現金	140,000		140,000	
未収金	14,000		14,000	
受取手形	150,000		150,000	
貯蓄資産	15,000		15,000	
医薬品	160,000		160,000	
図書・図書資料	16,000		16,000	
前払資産	170,000		170,000	
前払費用	17,000		17,000	
固定資産	180,000		180,000	
固定資産	18,000		18,000	
固定資産税等	9,061		9,061	
固定資産	724,600		724,600	
基本財産	429,000		429,000	
土地	190,000		190,000	
建物	19,000		19,000	
定期預金	200,000		200,000	
投資有価証券	20,000		20,000	
その他の固定資産	295,600		295,600	
繰越及び控除	210,000		210,000	
繰越繰戻金	21,000		21,000	
繰戻及び繰出	19,000		19,000	
有形リース資産	1,000		1,000	
有形固定資産1	11,000		11,000	
種別	12,000		12,000	
ソフトウェア	1,100		1,100	
投資有価証券	13,000		13,000	
長期貸付金	1,200		1,200	
投資有価証券	1,300		1,300	
長期預り金	14,000		14,000	
負債の部合計	2,119,661	66,700	2,052,961	

貸借対照表 令和2年7月31日 9時6分
【決算月一括報出】
4月～3月

決算書形式 2年 3月 31日 現在

勘 定 科 目	前月残高		当 月 残 高	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方
流動負債		164,439		164,439
短期借入金		1,400		1,400
事業用現金		15,000		15,000
未払費用		1,500		1,500
預り金1		16,000		16,000
預り金2		1,600		1,600
解 受 金		17,000		17,000
固定負債		1,700		1,700
前引手形		18,000		18,000
資本引当金		1,800		1,800
固定負債税等		90,439		90,439
固定負債		40,900		40,900
設備資金繰入金		19,000		19,000
長期借入金		1,900		1,900
リース負債		20,000		20,000
負債の部合計		205,339		205,339
純資産の部				
国庫補助金等特別積立金		2,000		2,000
その他の積立金		21,000		21,000
人件費積立金		21,000		21,000
次期繰越活動増減差額		1,824,622		1,824,622
(うち当期活動増減差額)		1,824,622		1,824,622
純資産の部合計		1,847,622		1,847,622
負債及び純資産の部合計		2,052,961		2,052,961

既存マスターの【F7 合計・明細】の出力詳細について

- ・試算表（決算書形式）は、従来のプログラムの【F7 合計・明細】でも網掛の設定は行えていました。但し、実際の出力はチェックボックス設定が不可だったため、網掛出力はできていませんでした。

既存マスターはマスターの作成時期によって濃淡の初期状態が異なります。下記をご参照ください。

- (1) 平成 29 年 4 月 1 日以降の決算期間から新規作成後に網掛設定を変更していないマスター、及び 29 年改正または 30 年改正コンバージョン完了後にスケジュールを初期化しているマスター

【F7 合計・明細】の出力詳細タブに濃淡の初期値がセットされています。今回のプログラムでチェック ON にすると網掛出力可能となります。

- (2) 29 年改正コンバージョン未了のマスター、及び 29 年改正または 30 年改正コンバージョン完了後スケジュールを初期化していないマスター

【F7 合計・明細】の出力詳細タブに濃淡の初期値がセットされていません。今回のプログラムで出力詳細タブの初期化(F12)を行ったあと、チェック ON にすると網掛出力可能となります。

合計・明細の選択 / 試算表

資金収支計算書 事業活動計算書 貸借対照表 出力詳細

様式	属性	科目名称	網掛	△表示
資金収支計算書				
	分類	介護保険事業収入		
	分類	施設介護料収入		
	明細	介護報酬 収入		
	明細	利用者負担金収入(公費)		
	明細	利用者負担金収入(一般)		
	分類	居宅介護料収入		
	分類	介護報酬 収入		
	明細	介護報酬 収入		
	明細	介護予防報酬収入		
	分類	利用者負担金収入		
	明細	介護負担金収入(公費)		
	明細	介護負担金収入(一般)		
	明細	介護予防負担金収入(公費)		
	明細	介護予防負担金収入(一般)		
	分類	地域密着型介護料収入		
	分類	介護報酬 収入		
	明細	介護報酬 収入		
	明細	介護予防報酬収入		

網掛の濃・淡が空白の状態になっています。

合計・明細の選択 / 試算表

資金収支計算書 事業活動計算書 貸借対照表 出力詳細

様式	属性	科目名称	網掛	△表示
資金収支計算書				
	分類	介護保険事業収入		
	分類	施設介護料収入		
	明細	介護報酬 収入		
	明細	利用者負担金収入(公費)		
	明細	利用者負担金収入(一般)		
	分類	居宅介護料収入		
	分類	介護報酬 収入		
	明細	介護報酬 収入		
	明細	介護予防報酬収入		
	分類	利用者負担金収入		
	明細	介護負担金収入(公費)		
	明細	介護負担金収入(一般)		
	明細	介護予防負担金収入(公費)		
	明細	介護予防負担金収入(一般)		
	分類	居宅介護支援介護料収入		
	明細	居宅介護支援介護料収入		

初期化(F12)

試算表

出力詳細の内容のみ初期値に戻りますが指定内容も初期化してもよろしいですか？

OK キャンセル

前頁 (F3) 次頁 (F4) OK キャンセル 適用 (A)

(3) 従前のプログラムで網掛設定を変更しているマスター

【F7 合計・明細】の出力詳細タブに変更済みの濃淡がセットされています。設定を初期化したい場合は出力詳細タブの初期化(F12)を行ったあと、チェック ON にすると網掛出力可能となります。

②「帳票の種類：試算表」に比率の列を出力できるように対応しました。

- ・【F6 項目登録】の試算表タブに「比率の列を出力する」及び「比率計算」の設定を追加しました。
- * 「比率の列を出力する」のチェックボックスの初期値は OFF です。ON にすると右端に列を追加し、整数部分 4 桁 (△表示除く) + 小数部分 1 桁を最大桁数として出力します。
桁あふれはアスタリスクで表示し、値が 0.1 未満の場合は非表示となります。
- * 資金収支計算書では項目並びの選択に関係なく比率の表示位置は変わりません。また、比率計算の初期値は“予算÷実績”です。
- * 比率の端数処理は会社登録の「比率計算時の端数処理」の設定によります。

* 資金収支計算書

- ・「資金収支計算書で、貸借発生を出力する=OFF」の場合、予算比を出力します。
比率計算の設定により、科目ごとに予算÷当月迄の累計または当月迄の累計÷予算で求めます。
いずれの場合も“予算比”と表示します。

当月迄の累計	予 算	予 算 残 高	予算比
1,825,000	30,000,000	28,175,000	6.0

- ・「資金収支計算書で、貸借発生を出力する=ON」の場合、対収入比を出力します。
事業活動収入計の当月残高を 100.0%とし、各科目の当月残高が占める割合を求めます。

発 生 方	当 月 残 高	対収入比
1,825,000	1,825,000	45.9
100,000	100,000	2.5
2,000,000	2,000,000	50.3
3,925,000	3,925,000	98.7
50,000	50,000	1.2
50,000	50,000	1.2
50,000	50,000	1.2
3,975,000	3,975,000	100.0

* 事業活動計算書

- ・対収益比を出力します。

サービス活動収益計の当月残高を 100.0%とし、各科目の当月残高が占める割合を求めます。

発 生 貸 方	当 月 残 高	対収益比
1,825,000	1,825,000	45.9
100,000	100,000	2.5
2,000,000	2,000,000	50.3
3,925,000	3,925,000	98.7
50,000	50,000	1.2
50,000	50,000	1.2
50,000	50,000	1.2
3,975,000	3,975,000	100.0

* 貸借対照表

- ・構成比を出力します。

資産の部合計の当月残高を 100.0%とし、資産各科目の当月残高が占める割合を求めます。

負債及び純資産の部合計の当月残高を 100.0%とし、負債・純資産各科目の当月残高が占める割合を求めます。

当 月 残 高	構 成 比
1,550,000	38.9
2,300,000	57.8
125,000	3.1
3,975,000	100.0
3,975,000	100.0

* 就労支援事業製造原価明細

- ・構成比を出力します。

当期就労支援事業製造原価の当月残高を 100.0%とし、就労製造原価各科目の当月残高が占める割合を求めます。

* 就労支援事業販管費明細

- ・構成比を出力します。

就労支援事業販管費合計の当月残高を 100.0%とし、就労販管費各科目の当月残高が占める割合を求めます。

* 授産事業費用明細

- ・構成比を出力します。

授産事業費用の当月残高を 100.0%とし、授産事業各科目の当月残高が占める割合を求めます。

- Excel 出力で比率の小数点以下第一位が 0 の場合、財務 d b と合わせて整数のみの表示としています。必要に応じてデータを加工してください。

II. 決算

1) 附属明細書

①残高がない部門を表示・出力できるように対応しました。

- ・出力対象部門であっても残高がない部門を表示していなかったのを、ツールバー－オプションに『残高がない部門を表示する』を設けることで、残高も発生もない部門を金額0で出すようにしました。
- ・対象帳票は、基本金明細書に加え、寄附金収益明細書、補助金事業等収益明細書です。

【出力部門指定】

出力部門指定

名称: 出力パターン1 (内訳)

【出力対象選択】

- 総合計
 - 9998: 社会福祉事業
 - 1001: 福祉A拠点
 - 1002: 福祉B拠点
 - 1003: 福祉C拠点
 - 9997: 公益事業
 - 2001: 公益A拠点
 - 2002: 公益B拠点
 - 9996: 収益事業
 - 3001: 収益A拠点
 - 3002: 収益B拠点
 - 9990: 内部取引消去 (内部取引消去)

【部門出力順】

部門	
1001	福祉A拠点
1002	福祉B拠点
1003	福祉C拠点

【オプション】

オプション(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

ページ番号を出力する(P)

西暦で出力する(S)

総合計の区分を選択してデータ取込する(K)

平成28年3月以前の様式番号で出力する(Y)

残高がない部門を表示する(Z)

上段/下段間で改ページする(N)

履歴削除(D)

【残高がない部門を表示する = ON】

対象拠点区分の指定: 部門 出力パターン1 (内訳) 詳細

番号	区分並びに組入れ及び取崩しの事由	合計	福祉A拠点	福祉B拠点	福祉C拠点
	前年度末残高	0	0	0	0
	1号基本金	0	0	0	0
	2号基本金	0	0	0	0
	3号基本金	0	0	0	0
	1号基本金				
	当期組入額				
1	施設整備費/基本金(福祉Aa)	823,101	823,101		
2	施設整備費/基本金(福祉Ba)	201,823		201,823	
	計	1,024,924	823,101	201,823	0
	当期取崩額				
	計	0	0	0	0
	2号基本金				
	当期組入額				
3	施設改築増築費/基本金(福祉Aa)	101,824	101,824		
	計	101,824	101,824	0	0
	当期取崩額				
	計	0	0	0	0
	3号基本金				
	←修正番号				

基本金明細書

【残高がない部門を表示する = OFF (従来の表示)】

対象拠点区分の指定: 部門 出力パターン1 (内訳) 詳細

番号	区分並びに組入れ及び取崩しの事由	合計	福祉A拠点	福祉B拠点	福祉C拠点
	前年度末残高	0	0	0	0
	1号基本金	0	0	0	0
	2号基本金	0	0	0	0
	3号基本金	0	0	0	0
	1号基本金				
	当期組入額				
1	施設整備費/基本金(福祉Aa)	823,101	823,101		
2	施設整備費/基本金(福祉Ba)	201,823		201,823	
	計	1,024,924	823,101	201,823	0
	当期取崩額				
	計	0	0	0	0
	2号基本金				
	当期組入額				
3	施設改築増築費/基本金(福祉Aa)	101,824	101,824		
	計	101,824	101,824	0	0
	当期取崩額				
	計	0	0	0	0
	3号基本金				
	←修正番号				

基本金明細書

- ・出力パターン内に残高がある部門がひとつもない場合も、設定 ON 時は部門を表示・出力します。この場合、基本金明細書では明細行は表示しません。

【残高がない部門を表示する=ON】

対象拠点区分の指定 部門 出力パターン3 (内訳) 詳細

番号	区分並びに組入れ及び取崩しの事由	合計	収益A拠点	収益B拠点
	前年度末残高	0	0	0
1	1号基本金	0	0	0
2	2号基本金	0	0	0
3	3号基本金	0	0	0
	1号基本金			
	当期組入額			
	計	0	0	0
	当期取崩額			
	計	0	0	0
	2号基本金			
	当期組入額			
	計	0	0	0
	当期取崩額			
	計	0	0	0
	3号基本金			
	当期組入額			
	計	0	0	0
	当期取崩額			

←修正番号 基本金明細書

【残高がない部門を表示する=OFF (従来の表示)】

対象拠点区分の指定 部門 出力パターン3 (内訳) 詳細

番号	区分並びに組入れ及び取崩しの事由	合計	収益A拠点	収益B拠点

←修正番号 基本金明細書

- ・寄附金収益明細書、補助金事業等収益明細書で出力パターン内に残高がある部門がひとつもない場合、すべての区分で明細行を1行ずつ表示・出力します。

対象拠点区分の指定 部門 出力パターン1 (内訳) 詳細

番号	寄附者の属性	区分	件数	寄附金額	うち基本金組入額	福祉A拠点	福祉B拠点
1		経常	0	0	0	0	0
	区分小計			0	0	0	0
2		運営	0	0	0	0	0
	区分小計			0	0	0	0
3		施設	0	0	0	0	0
	区分小計			0	0	0	0
4		償還	0	0	0	0	0
	区分小計			0	0	0	0
5		固定	0	0	0	0	0
	区分小計			0	0	0	0
	合計			0	0	0	0

←修正番号 寄附金収益明細書

修正（社会福祉法人）

I. 出力

1) 試算表

- ・部門別出力において、特定の条件により出力が崩れたり「集計処理でエラーが発生しました」のメッセージで落ちる場合があったのを修正しました。

2) 決算書

- ①一括税抜きマスターにおいて、税額を加味した金額で配賦が行われない件を修正しました。
- ・2020/8/6 提供のプログラムにて下記対応を行いました。対応に不十分な個所があり再度修正を行いました。

2) 決算書

- ・一括税抜きマスターで、配賦金額に税額を加味して更新するよう対応しました。
- ※今回の修正は「配賦する」で出力した場合、税額分を含まずに更新していたため、出力帳票の前期の期末残と当期の期首残が同額となっていませんでした。
尚、科目残高登録での部門別の期首残高と「配賦する」で出力したときの期首残高は異なります。
- ※既に更新済みのマスターは、今回のプログラムで「前年度からの更新」を行ってください。
- ※従前のプログラムで更新後、つじつまを合わせるために残高登録などで金額を調整している場合、今回の修正で逆に合わなくなる可能性があります。処理を行う際にはデータを十分にご確認ください。

- ・前回分で前年度からの更新を行ったマスターは該当マスターを処理するだけで正常に集計されます。

3) 附属明細書

- ①基本金明細書において、残高がない部門が翌期更新後に表示されていたのを修正しました。
(今回の改良では設定 OFF の場合。ON の場合は表示されます。)
- ②補助金事業等収益明細書の画面で、明細行の交付金額等合計に 0 を表示していたのをカットしました。
- ③国庫補助金等特別積立金明細書の出力で、残高がない部門について明細行は空白、合計行は 0 を表示するようにしました。従来は仕訳にその部門を入力しているかどうかで 0 出力を判断していました。

【補足】

- ①寄附金収益明細書及び補助金事業等収益明細書で、すべての区分を表示するのは出力パターン内に残高ありの部門がひとつもない場合であると先に記述していますが、出力パターン内に残高がある部門とない部門が混在している場合は、残高がある部門に使われている区分データのみ表示します。
- ②今回の改良では、国庫補助金等特別積立金明細書、積立金・積立資産明細書、及び引当金明細書は除外しています。

その他改良

I. 登録・入力

1) 仕訳入力

①通常入力

- ・「F4 入力設定」の「資金繰諸口枝番名称を表示」を「資金収支諸口枝番名称を表示」に文言を変更し、諸口入力時に資金収支枝番 [.0001 現預金対象仕訳] を入力できるように改良しました。

枝番

- 枝番未入力チェック
- 枝番名称を表示
- 枝番のコピー
- 枝番摘要を仕訳摘要にセット
- 資金収支諸口枝番名称を表示
- 枝番選択を50音順で表示

1	現	金	9 .0001 現預金対象仕訳	17
2	普通	預金 1	10	18
3	未	収 金	11	19
4	立	替 金	12	20
5	事	業 未払金	13	21
6	預	り 金 1	14	22
7	仮	払 金	15	23
8	仮	受 金	16	24

- ・従来、「F3 表示設定」の仕訳表示形式を“2行で表示”にしている場合、部門名称は3文字目までの表示でしたが、4文字目以降も表示できるように改良しました。

部門	部門	金額
借方	貸方	摘要
訪問リハビリテーシ	訪問リハビリテーシ	205,000
現	金	施介護報酬収益

②伝票入力

- ・オプション「伝票入力設定」の「振替伝票で資金繰り枝番入力」を「振替伝票で資金収支枝番入力」に文言を変更し、諸口仕訳に資金収支枝番 [.0001 現預金対象仕訳] を入力できるように改良しました。

伝票入力設定

仕訳タイプ初期値の設定

複合仕訳 単一仕訳

プログラム開始時や仕訳登録の後等、新しい振替伝票を入力する時 『複合仕訳』で入力します。

振替伝票で資金収支枝番入力

行う 行わない

振替伝票で修正時、複合仕訳の表示

詰めて表示 別行として表示

伝票登録時の伝票番号重複チェック

行う
 重複時、自動で伝票番号を付番する
 行わない

OK キャンセル

通常入力	検索項目	検索	伝票入力	出納帳
1	現 金	.0001	現預金対象仕訳	
2	普通 預金 1			
3	未 収 金			
4	立 替 金			
5	事 業 未払金			
6	預 り 金 1			
7	仮 払 金			
8	仮 受 金			

2) 元帳検索

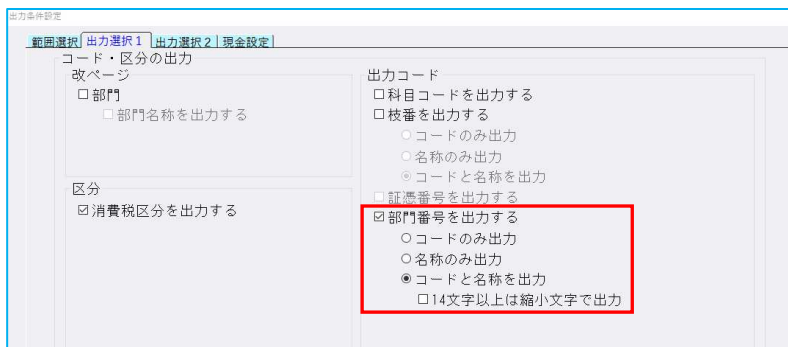
- ① [F11 貸借修正] を行っている状態で、修正ダイアログから科目選択や消費税選択のダイアログを表示した場合、現在修正中の仕訳に被らずに表示するように変更しました。
- ② [F4 仕訳追加] 又は、[Ins 仕訳挿入] を行った際に表示するダイアログの高さを保存し、次回表示時、その高さに表示するように改良しました。
※解像度を変更した場合は初期位置に戻ります。

3) 伝票発行

- ①部門番号出力時、部門名称も出力できるように対応しました。
[F12 出力条件] の出力選択 1 タブで「部門番号を出力する」にチェックを付けている場合に、出力項目を「コードのみ出力」、「名称のみ出力」、「コードと名称を出力」のいずれかを選択できる機能を追加しました。
また、「コードと名称を出力」を選択している場合には、「○文字以上は縮小文字で出力」の選択を追加しました。

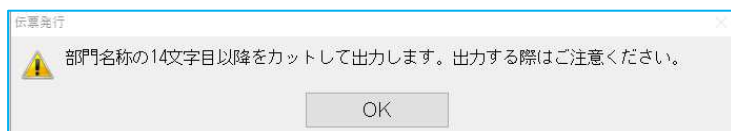
※「○文字」の部分に関しては、部門コードの桁数により表示が変わります。

- ・部門コード 4 桁の場合 = 16 文字以上は縮小文字で出力
- ・部門コード 5 桁の場合 = 15 文字以上は縮小文字で出力
- ・部門コード 6 桁の場合 = 15 文字以上は縮小文字で出力
- ・部門コード 7 桁の場合 = 14 文字以上は縮小文字で出力
- ・部門コード 8 桁の場合 = 14 文字以上は縮小文字で出力



- ◆「○文字以上は縮小文字で出力」の機能について
「14 文字以上は縮小文字で出力」にチェックを付けていない場合。
 - ・部門名称が 14 文字以上でも、部門名称は 13 文字までしか出力されません。
「14 文字以上は縮小文字で出力」にチェックを付けている場合。
 - ・部門名称を縮小し、16 文字まで出力します。

※「○文字以上は縮小文字で出力」のチェックを外した際に、下記メッセージを表示します。



◆上記機能の追加に伴い、出力選択のタブを「出力選択 1」と「出力選択 2」に分けています。

《出力選択 1》

出力条件設定

範囲選択 | 出力選択 1 | 出力選択 2 | 現金設定

コード・区分の出力
改ページ
 部門
 部門名称を出力する

区分
 消費税区分を出力する

出力コード
 科目コードを出力する
 枝番を出力する
 コードのみ出力
 名称のみ出力
 コードと名称を出力
 証憑番号を出力する
 部門番号を出力する
 コードのみ出力
 名称のみ出力
 コードと名称を出力
 14文字以上は縮小文字で出力

伝票番号の出力方法
 入力時の伝票番号を出力
 指定番号から連番で出力
 出力しない

伝票番号未入力仕訳
 出力する
 出力しない
 未入力伝票のみ出力

《出力選択 2》

出力条件設定

範囲選択 | 出力選択 1 | 出力選択 2 | 現金設定

その他
 伝票下部への会社名の出力
 区切りマークの出力
 同一日付仕訳が複数ページにまたがる場合に真計を出力する
 伝票形式と他形式で改ページしない(伝票形式仕訳の部門名称出力)
 税区分 税額を別行に表示する
 付箋を出力する

諸口を詰めずに出力する

摘要が32文字以下の時に、フォントサイズを大きくする

②複合仕訳でそれぞれの仕訳に摘要を入力している場合、1 仕訳目と 2 仕訳目の摘要の合計が 40 文字以上 68 文字以下の場合、摘要の間にスペースを入れるように改良しました。

《例》 1 仕訳目に 25 文字、2 仕訳目に 30 文字の摘要を入力している場合等

※69 文字以上の場合はスペースを入れず、改行を行います。

4) 新規会社登録・修正・削除

①過年度マスターが存在する場合でも、当年度マスターのみを削除できるように改良しました。

●削除対象について

- ・全データ → 減価償却を含む全データを削除します。
- ・財務データ → 財務マスター（財+消+内）を削除します。

年度選択

削除する年度を選択してください。

[00000003] 社会福祉法人 □□

期間	財	消	内	減	法	削除対象
<input type="checkbox"/> 当年度 (令和 2年 4月 1日 ~ 令和 3年 3月31日)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	全データ
<input checked="" type="checkbox"/> 過年度 (平成31年 4月 1日 ~ 令和 2年 3月31日)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	全データ
						財務データ

全選択 [F12] OK キャンセル

※削除を行った結果、減価償却 d b の事業期間が財務 d b の事業期間を超えるマスターが作成されないようにメッセージを表示し制御を入れています。

例) 減価償却 d b マスターが当年度のみ存在している場合、当年度で“全データ”又は“財務データ”を選択することができますが、当年度の“財務データ”を選択し削除すると減価償却 d b の事業期間が財務 d b の事業期間を超えるため、下記のメッセージを表示します。

年度選択

削除する年度を選択してください。

[00000003] 社会福祉法人 □□

期間	財	消	内	減	法	削除対象
<input type="checkbox"/> 当年度 (令和 2年 4月 1日 ~ 令和 3年 3月31日)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	財務データ
<input type="checkbox"/> 過年度 (平成31年 4月 1日 ~ 令和 2年 3月31日)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	全データ

新規会社登録・修正・削除

財務 d b マスターの事業期間を他業種のマスターを超えるため削除することはできません。

OK

5) 科目設定・残高登録

- ①枝番名称・摘要名称を「科目設定・残高登録」業務から登録する際に、「-（伸ばし棒）」を入力した場合、カナ欄に「-（ハイフン）」が入るように変更しました。
従来、カナ欄には「-（長音）」が入っていました。
《例》 ノート → ノト

Ⅲ. 通信・移動

1) マスター&データ抽出

- ①受信一覧の画面を開いた際に、一番新しいデータが最下行に表示されるが、カーソル位置は最上行に止まっていたのを、最下行に変更しました。



その他修正

I. 導入・更新

1) 前年度からの更新

- ①部門枝番処理を行っているマスターで、前期に部門枝番を追加した科目があり、当期の該当の科目に同じ部門枝番の登録がない場合に“部門枝番残高の更新に失敗しました varchar の値'xxxxxxxx'をデータ型 inf に変換できませんでした。”とエラーを表示していたのを修正しました。

II. 登録・入力

1) 仕訳入力

- ①固定資産の売却等で対価が発生していた科目を、対価の発生しない科目に変更しても、仕訳検索の“対価”での検索に引っかかっていたのを修正しました。
- ②仕訳検索で「仕入区分：仕入区分対象」を選択して検索すると、仕訳区分（輸出売上・消費税精算等）が入力されている仕入区分が入力できない仕訳も検索結果に表示されていたため、仕入区分が入力できる仕訳のみ検索できるように修正しました。
- ③出納帳入力画面で仕訳を表示し、別の業務画面とタスクで画面を切り替えていると、出納帳入力画面のカーソルを置いていた箇所が白くなり、その状態で Enter キーを押すとカーソルが勝手に移動し、処理終了ができなくなっていたのを修正しました。

2) 科目設定・残高登録

- ①固定資産科目の課税区分を“非課税”にし、その科目を使用している仕訳が非課税になっている場合、「消費税額試算表・集計表・課税売上割合」の非課税売上に集計されなかったのを、正しく集計するように対応しました。
※令和3年1月1日以降開始のマスターより対応を行っています。

3) 元帳検索

- ①「新規会社登録・修正・削除」の「消費税区分：摘要」が“登録しない”の設定になっているマスターで、元帳検索画面で [Ins 仕訳挿入] [F4 仕訳追加] や [F11 貸借修正] で仕訳修正をする際に、摘要枝番処理が行えなくなっていたのを修正しました。
※科目設定の摘要登録で「摘要への消費税区分を登録する。」のチェックが無い場合も同様です。
- ②下記の条件等に該当するとき、[F11 貸借修正] で枝番科目を入力すると、消費税区分が文字化けしたり、入力していた金額が変わっていたのを修正しました。
《条件》
 - (1) 仕訳の摘要に全角 30 文字、半角 1 文字入力。
 - (2) 枝番に全角 10 文字登録。
 - (3) [F4 入力設定] で「枝番摘要を仕訳摘要にセット」にチェック有り。
- ③マルチウィンドウ有効時、[F11 貸借修正] の修正ダイアログを表示した際に、差引残高の列がはみ出て表示される場合があったのを修正しました。

4) 残高問い合わせ

- ①比較残高タブで、枝番表示方法を“50 音順”に設定しているときに、前期と当期で、枝番、フリガナは同じだが、摘要コードの有無が違う場合、同じ枝番が前期と当期に分かれて表示していたのを修正しました。

5) チェックリスト

- ①消費税属性不良仕訳出力時、一部の仕訳が、画面表示とプレビューで異なっていたのを修正しました。
- ②消費税属性不良仕訳出力時、画面表示では「科目は消費税対象外だが、仕訳は消費税対象のもの」・「科目は消費税対象だが、仕訳は消費税対象外のもの」の両方が表示されますが、印刷・プレビューでは「科目は消費税対象外だが、仕訳は消費税対象のもの」しか出力されないケースがあったのを修正しました。

6) 伝票発行

- ①税抜きマスターで、対価を外税で入力した固定資産売却仕訳を伝票発行する際に、出力条件設定の出力選択 2 タブの税区分を“税抜”にして、「税額を別行に表示する」にチェックを入れ、仕訳を入力した月を指定して集計を行うと、動作が停止していたのを修正しました。
- ②特定の条件で集計を行うと、正しく集計が行われず、もしくはプログラムが不正終了していたのを修正しました。

Ⅲ. 出力

1) 総勘定元帳

- ①下記条件の場合に、枝番が左の枠線を大きくはみ出していたのを修正しました。
 - (1) 形式：「コクヨ形式 2 (白紙：A4 版) [区切線]」
 - (2) 種別：補助元帳
 - (3) [F7 出力書式] の書式 2 タブで“伝票／部門 No 出力”を「枝番を出力 (相手科目)」

2) 消費税仕訳帳

- ①経理方式が一括税抜き：総額方式のマスターで、消費税が 10%の売上の逆仕訳を入力して、売上の合計がマイナスになる場合に、消費税仕訳帳と合計表で税額が表示されていなかったのを修正しました。

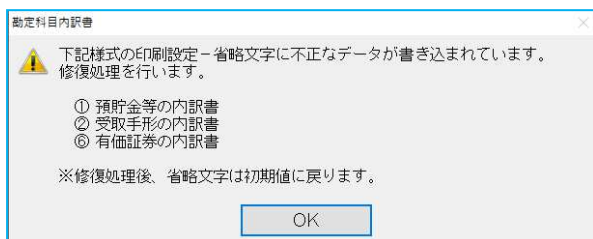
IV. 決算

1) 勘定科目内訳書

①「①預貯金等の内訳書」「②受取手形の内訳書」「⑥有価証券の内訳書」で、省略文字の設定が破損してしまふケースがあり、現象が起こるマスターに対する修復処理を追加しました。

修復処理は今回提供のプログラムで、該当マスターを起動した際に一度だけ下記のメッセージを表示し行います。

※修復処理後、上記3様式の省略文字の設定が『初期値（しない「＼」）』に戻りますので、必要に応じて再度設定してください。



以上